

立教182年

全教一斉 ひのきしんデー

4月29日祝



お近くの会場は、「天理教ホームページ」または「教区・支部情報なっと」でもご確認ください



第557号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社

ひのきしんはよろこびの行動。知らずしらずのうちに自分自身の心のほこりが払われ、勇みがわいてきて、運命が明るく開けていきます。

この日は、それぞれの土地所で心をついにひのきしんをする日です。もれなく声をかけて多くの方と勇んで勤めましょう。

※全国の会場は、天理教ホームページで会場案内からご確認ください。



平成31年(立教182年) 3月27日撮

お知らせ

教祖誕生祭 輸送便

・おちばへのバス

こちらです

北海道教区輸送部

《関空↓おちば》

4月17日

15時30分第2ターミナル発

15時45分第1ターミナル経由

《おちば↓関空》

4月19日 13時0分発

天理駅前西1駐車場出発

今年の教祖誕生祭に

《関西空港⇕おちば》

輸送バスを運行致します

※この度の教祖誕生祭おちばがえりについて、北海道教区輸送部でバスを出させて頂くことになりました。希望される方は事前に予約の上ご利用下さるようご案内申し上げます。

※詳しくは各教会へ配布のチラシをご参照下さい。

申し込み・問い合わせ

教区輸送部

担当・武田 巳千郎

電話 011(681)2433

携帯 090-9974-4643

北海道教区のホームページ <<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>> 教区報がご覧頂けます。

3月支部長会議 教区長挨拶より

「真柱様には、先月の修養料の修了生27人に、おさづけの理をお渡しになりました。ご体調も考慮されてか、9名ずつ3日に分けてでありましたが、今後は、段々と進むという希望が湧いてくるお知らせになりました。これからは、直属を通しておさづけのお運びのお知らせが一週間前になるそうです。2月の月次祭にも、御参拝にお出ましになられ、かぐらづとめ中には、正座をされて、御参拝されました」と、教区長挨拶で伝えられた。

「御教えという メガネを忘れずに」

苫小牧支部長 菊地雅之



3月2日、任期最後の支部長会議が終わり、ホッとした矢先に、この原稿を依頼されました。それこそ、支部長としての最後の御用と思つて、書かせて頂きました。

私たちは、所属する教会の、直

属において、そして支部内また地域社会においても、色々な立場に置かれることがあります。その立場になりますと、ありがたいことに、今まで見えなかったことが見えてくる、ということがよくあります。それは普

段、いかに自分の立ち位置から見て、考え、判断しているかというところがよくわかります。ですから、立ち位置が変わると、見え方も変わりますし、考えも変わる、意識が変わるといふことになります。

二代真柱様は、色メガネに例えて話をされましたが、私も自分というフィルターを通して見たり、聞いたりして判断してしまいがちです。自分というフィルターが強ければ強いほど、見ているながら、実際とは違う見

え方になつている場合もあるかと思ひます。

教典第8章に「・・・教えの理を聴き分けて、かしの理もよく胸に治まり、心のほこりも次第にぬぐわれ、いんねんの悟りもついたなら、ものの観方が変わってくる。見えるまま聞かせるままの世界に変わりはなくとも、心に映る世界が変わり・・・」とあります。

このことは今まで自分の使っていたフィルターを変える、立

支部主任研修会

教区婦人会（山本亨子主任）は3月2日、教務支庁において支部主任研修会を開催した。開始に先立ち、婦人会創立110周年決起の集いを無事につとめさせて頂けるようにと、お願いづ



ち位置を変えたいということも言えると思ひます。若い頃に比べて、年限とともに少しずつ変わってくるように感じられるのはありがたいことです。遅々たる歩みではありますが、これからおたすけにあつては、親神様、教祖の教えというメガネを忘れないように、常にかげ、少しでも相手の立場に立てる、共感できるようなれればと思ひます。

めをつとめ、続いて教区長先生の御挨拶を頂いた。

会員決起の集いの説明会と、昨年度を振り返りながら、本会の思い、教区の動きを含めて有意義な話し合いの時間を持たせて頂いた。今回は支部主任に加えて、決起の集い会場責任者、プロジェクトチーム、ままつぶの集いお世話係、Missyくら会責任者、女子青年委員長も出席し42名の参加となった。今年度、創立110周年会員決起の集いが道内13会場で開催されるにあたり、一人でも多くの方に参加頂けるよう、支部主任が心を一つに合わせ、明るく勇んでつとめさせて頂きたいとの教区主任の思いを聞かせて頂き、研修会を終えた。

天理教婦人会創立百十周年 会員決起の集い

- 5月1日 (水・祝) 午後1時
会場・統北分教会
札幌市清田区北野7条4
- 5月3日 (金・祝) 午後1時
会場・北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11
- 5月19日 (日) 午後1時
会場・本輪西分教会
室蘭市石川町201番地
- 5月29日 (水) 午後1時
会場・膽振分教会

勇払郡むかわ町福住2
6月1日 (土) 午後1時
会場・雨龍大教会
深川市6条7番1号

6月16日 (日) 午後1時
会場・網走大教会
網走市北3条西6丁目3

6月23日 (日) 午後1時
会場・稚内分教会
稚内市中央4丁目12-18

6月30日 (日) 午後1時
会場・上川分教会
旭川市旭町2条4丁目12

6月30日 (日) 午後1時
会場・人舞分教会
上川郡清水町北1条6

6月30日 (日) 午後1時
会場・北明分教会
函館市大川町10番5号

6月30日 (日) 午後1時
会場・夕張大教会
岩見沢市9条西6丁目21

7月14日 (日) 午後1時
会場・北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11

午後6時
会場・北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11

ほんの数年前の出来事である。ある日、オランダのアムステルダムからマレーシアのクアラ Lumpur へ向かったマレーシア航空の旅客機が、ウクライナの上空を飛行中に、ミサイルらしきもので撃墜されて散ってしまった。もちろん、生きている人はいなかった。当時、ウクライナはロシアと戦闘状態であったので、敵の戦闘機と間違つて撃ち落とされたとの事であった。

人の世の能力に絶対のものはなく、起こりうることも知れないが、ひどい話である。

ところが、この撃墜事故にまつわつて人の運命の不思議さを教えられた。

Aさんは、オランダのある会社のアジア地域の責任者として、オーストラリアで働き、オランダには月に一度位は通つていた。その時はいつもマレーシアの航空便を利用していた。そして、墜落した日である。Aさんは会議や打ち合わせも終わりに、既にその日のチケットも購入していたので帰ろうとしていたら、会社の先輩が「私も用事が出来たので、明日マレーシア

に行くことになった。君も一日遅らせて、私と一緒に帰つてくれないか。」と言われた。Aさんは本当は一日も早く帰りたいので断りたかつた。しかし、先輩の気持ちを察して仕方なく同行を承諾したのであった。

教理随想 二十九

運、不運

木岡 昭

Aさんは撃墜された便に乗り合わせることもなく、結果的に先輩と同行したために、生命がたすかったのであった。

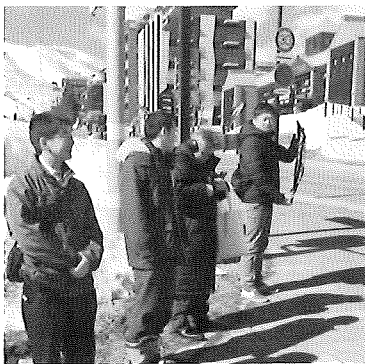
ウクライナ上空での事故は、たとえ戦争中であっても絶対に大丈夫という約束事を侵したもので、人為的なミスである。しかし、いくら謝られても、亡くなった生命は戻らない。そしてこれは、誰も予測できない。それでも、Aさんのように事故にまつわつて、嫌々でも他人の思いに添つて乗り換えて、訪れた運のよさは何なのだろうか。

この現実には、どんなに科学、技術、政治力がたけても、人間の能力外のものである。

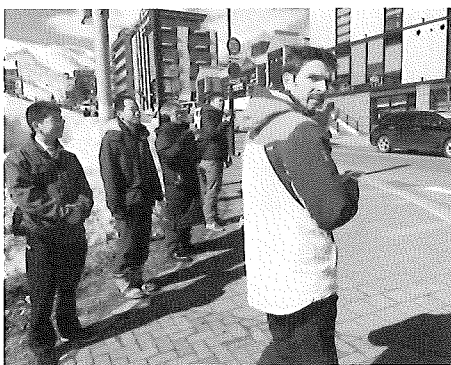
この世で生かされている限り、人の運、不運は受けていかねばならない。

そのためには、私達の人生は一代ではなく、生まれ変わりで変わりしてきた心の道の結果を悟り、受ける以外にはない。そして自分の力の及ばないところも守られていると、謙虚な心で受け、悟ることである。そしてさらに、良い運に導かれる心の種まきをさせて頂く人生でありたいものである。

最後に一言。危険に出会い助かった人は、手放して喜んでいられない。もっともっと心に徳を積むことを示唆されているのだ、と本当にへり下つて受け悟るべきであろう。

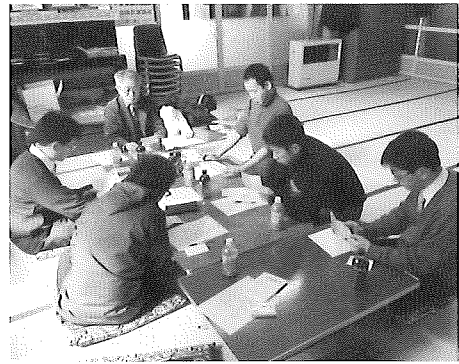


《ニセコ海外布教実習会概要》
 3月7日、教区青年会と俱知安支部青年会が共催にてニセコ海外布教実習会を実施した。
 この行事は昨年の初開催に続き2回目。
 参加者は当日10時に会場教会である俱知安分教会に集合、英語布教の講師である札幌東支部の赤羽誠・養樹分教会長の指導



参加会員数 6名

ニセコで海外の方に、布教体験



の下、英語による布教トークの練習、実際の場面を想定して二手に分かれたロールプレイングなど事前研修を行った。

その後、俱知安分教会のご好意で昼食を頂き、午後からニセコ地区のスキー場へ移動し、英語による路傍講演とリーフレット配りを実施した。

路傍講演を聞いて微笑みを返してくれる方やリーフレットを手に取り内容を聞いてくれる方がいるなど、寒い中でしたが心が温かくなる場面が多くあった。

尚、小樽、余市支部からも参加があり、にいがけが始まる頃には俱知安支部の教会長さんやOBの方も参加して下さり、近隣支部にもしっかりと周知されていることを実感した。

新会長さん紹介

(平成31年1月26日お運び)

南空知支部

栗沢分教会(網走)

奉告祭 3月31日



眞壁正教氏 (49歳)

天理時報の増部を呼びかけ

天龍支部で成人講座

去る3月4日午後から、深川市の雨龍大教会に於いて、天龍支部布教部では、成人講座を開催し、天理時報の増部に向けて意識を高めた。
まず、松下敏孝・支部手配り担当者より、これまでの活動の経過発表があり、継続していく

ための課題などが明らかになった。そして、今回の講師には、加地道喜・教区文化広報部長を迎えて、「届けよう ぢばの声 旬の風」天理時報を増部推進しようと呼びかけがあり、手配りひのきしんに参加を募る、感話も行った。

雅楽講習会のお知らせ

北海道雅楽会では、楽人の更なる技術向上と後進の育成を目指し、特に学生さんや勤め人の方々が参加しやすいように、毎年5月の連休中に「雅楽講習会」を開催しております。今年も下記の要綱で開催いたします。多数ご参加ください。
※注 今年は例年と開催日が変更となっております。ご注意ください。

記

日時 平成31年5月4日(土)

午後1時～

5月5日(日)

午後2時

会場 北海道教務支庁

対象及び課題曲

・初級者：平調

けいじばん

第199回基礎講座教区会場
講師：和田与志男

(受講者 9名 累計 8576名)

4日 任命願書発送

8日 事情願書発送

10日 春の学生おぢばがえり

引率者会議

17日 福祉厚生部委員会

19日 教区報編集会議

編集後記

教区事務所の

引越しによせて

最初始めるのは全てに大変だ、引越しは特に手間が掛かる。まず、前の家を片付けなくてはならない。手続きもある。そして荷物を運ぶ・納める。使いやすくする。

この一ヶ月、筆頭書記の渡部氏他数名が、おぢばの教区事務所への引越しに向いて、あれこれ難儀して、親里郵便局の南に移った。

イヤ、筆頭がない札幌も、混乱した。事務所が空のときもあり、この号の編集もちよっと迷走。校了時に、いつも頼りの齊藤氏もいない…。ともあれ、おぢば事務所が、どの話所よりかんろだい近くにできた。まず最初は管理も大変と思われる。(ま)

◎金銭に関する諸問題で相談

の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(三布連)

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式

をおこなっております。

◎本部専用電話は終了しました

た。本部各部所へは直接一般電話でおかけ下さい。

本部代表075(83)5511は、9時～16時30分までの取り扱いとなります。

計報

・堀内利一様 2月26日出直(99歳)
誠利分教会長 (釧根支部)

北海道教務支庁日誌抄

(2月21日～3月19日)

2月23日 学生会例会

24日 おうた練習

26日 御本部月次祭遙拝式

28日 図書修理会

3月1日 たすけ推進会議

2日 支部長会議

婦人会支部主任研修会